

# 令和4年度 学校評価（自己評価）について

## 1. 教育目標

- ①幼児期にふさわしい生活習慣を育てる。
- ②恵まれた環境の中で、豊かな心を育てる。
- ③挨拶などを通して、明るく素直でやさしい気持ちを育てる。
- ④心身共に丈夫で、最後まで諦めない努力する心・自立心を育成する。

## 2. 今年度の重点目標

- ・本園の教育目標を実現するため、教職員自らが主体的に自己研鑽に励み、充実した教育課程の編成及びその実施に努める。

## 3. 評価項目と取り組みの状況

NO	評価項目	取り組み内容	評価	取 り 組 み 状 況
1	教育方針 目標	素晴らしい環境の下で 心身の健康を培い、自然の中で活 動しながら、豊かな感性を育て る。	A	・大阪市内では最大級の広さの園庭で、時間の制限なく、思いきり身体を動かして 活動できる状況を作っている。 ・四季折々の草木の中で、栗拾い・银杏拾い・いも掘り・お花摘みなどの収穫体験 活動を実施し、自然に触れる機会を多く設けている。
2	教育課程の 編成	教育課程の編成は、幼稚園教育要 領をふまえ、園の教育方針に従い 編成されている。	A	・毎日カリキュラムを基に、学年・全体会議を行い、教職員の共通理解を図る。 ・子供の成長発達を期して、5領域をバランスよく編成している。
3	教育環境の 構成	幼児を温かく受け入れる環境を 作り、人との関わりの中で、明る く素直な心を育て、自主性・自立 心を養う。	A	・各クラスの活動を基本としながら、バス待ち・クラブ活動などを通して、縦割り 保育や他クラスの園児との交流を深める取り組みをしている。 ・中学生の職場体験・教育実習・ボランティア・クラブ講師など、色々な人と触れ 合う機会を設けている。
4	研修・研究会 への参加	運動・遊びを通して、基本的な生 活習慣を身に付ける指導法を研 究している。	A	・集団遊びの中でルールを学び、挨拶など（ありがとう・ごめんなさいなど）を通 して、相手を思いやる気持ちを持つための指導法を研究している。 ・大阪府・大阪市などが開催している研修会にも、積極的に参加している。
5	安全への 配慮	毎朝子供の体調を視診している。	A	・体調の悪そうな子をいち早く見つけ、検温など適切な処置を行い、家庭へ連絡し ている。
6	安全管理	避難訓練・交通安全指導などを行 っている。 緊急時の対応について、全教職員 が共通理解を持つように取り組 んでいる。	A	・園独自の信号機や遮断機を使い、より現実的な指導を行っている。 ・スムーズに逃げられるように、園児の避難経路を定めている。 ・監視カメラ・防犯ブザー・オートロック式扉・出入口の職員の監視など、常に園 全体の様子を把握できるようにしている。
7	子育て支援事 業と地域への 開放	子育て支援事業の一環として、長 時間の預かり保育、土曜日の自由 登園を実施している。	A	・毎週土曜日に希望する園児が登園し、通常保育では経験できない諸活動を、カリ キュラムに取り入れて実施している。 ・預かり保育は早朝から行い、働く保護者の子育てに大きく貢献している。

<評価の基準> A：十分達成されている B：達成されている C：取り組まれているが、成果が十分でない D：取り組みが不十分である

## 4. 学校評価（自己評価）の総合評価結果

- ・評価項目ごとの取り組みの結果、今年度の重点目標であった教職員の自己研鑽、充実した教育課程の編成及びその実施が達せられた。

## 5. 今後取り組むべき課題

- ・指導計画の作成の充実 — 各行事などの取り組みには、余裕を持った保育計画を考える。
- ・安全管理体制の充実 — これから起きうるであろう地震や津波に対する訓練に取り組んでいきたい。